

研究課題名	椎骨脳底動脈循環不全に対する血行再建術治療成績の後方視的研究
実施責任者	所属・職名：脳神経外科 部長
	氏名： 鈴木 宰
研究の概要	椎骨脳底動脈の高度狭窄、閉塞症は稀な疾患ですが、脳幹部への虚血は致命的または重篤な後遺症につながる可能性があります。椎骨脳底動脈の血行再建術は治療難易度が高く、完遂できる外科医が限定されています。 初期治療は抗血小板薬を中心とした内科的治療が主体ですが、内科的治療抵抗性に増悪を認めるケースも見られます。一部の症例では外科的治療により症状の悪化を食い止められる場合がありますが、手術難易度の高さのため、手術適応についての明確な基準は未だに確立されていません。当院における椎骨脳底動脈循環不全の外科的治療の成績を後方視的に探ることにより、手術が有益と考える症例の詳細を明らかにしたいと考えております。研究方法は電子カルテより後方視的に情報収集し、そのデータを分析致します。研究期間は研究承認後より一年間の2025年3月1日までを予定しております。
対象となる個人情報	年齢、性別、発症様式（脳梗塞、一過性脳虚血発作）、病態（高度狭窄、または閉塞）、バイパスの術式選択、手術体位、皮切のタイプ、手術合併症、バイパス開存の有無、最終 modified rankin scale, Glasgow outcome scale
実施の期間	西暦 2022 年 4 月 1 日より
	西暦 2023 年 4 月 30 日まで
研究対象	上記期間に外科的治療を実施された椎骨脳底動脈循環不全の患者